

米海軍航空機からの部品落下について（要請）

2014年1月9日、厚木基地所属の航空機が綾瀬市内に部品を落下し、車両等を破損させる事故が発生しました。幸いにも人的被害はありませんでしたが、一歩間違えれば人命に関わる可能性のある重大な事故です。

厚木基地周辺では、2013年12月16日に三浦市にヘリコプターが不時着し、米軍乗員が負傷したほか、町田市においては、1964年4月5日に市内に米軍機が墜落し、死者4名・重軽傷者32名を出す大惨事が発生しており、市民は今もなお、航空機事故に対して、強い不安と懸念を抱いています。

当市では、これまでも、事故が発生する都度、飛行の安全対策の確立や整備点検の徹底を繰り返し要請してきたにもかかわらず、今回、再びこうした事故が生じたことは、米軍機の安全管理等に対する不信感を市民に与えるものであり、極めて遺憾であります。

貴職におかれましては、今後、二度と米軍機の事故が起こることのないよう、次のことについて、万全の対策を講じることを（米軍に申し入れるよう）改めて強く要請します。

※（ ）内は、日本側への要請に挿入

- 1 今回の事故の原因を早急に究明し、実効性のある再発防止策を確立すること。
また、これらについて速やかに公表するとともに、安全性が確認されるまでは、同機種^()の飛行を中止すること。
- 2 航空機の整備点検などを確実に実施して、航空機の徹底した安全管理を行い、事故の再発防止に努めること。

2014年1月10日

在日米海軍司令官	テリー・B・クラフト少将	}	殿
厚木航空施設司令官	スティーヴン・J・ウィーマン大佐		
外務大臣	岸田文雄		
防衛大臣	小野寺五典		

東京都町田市市長 石坂 丈一